

平成 20 年 事業報告書

〈平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日〉

～ 活 動 趣 旨 ～

スチール缶はお金にならないとの理由で、団体回収で集められている空き缶のほとんどがアルミ缶だけです。しかし、空き缶にはスチール缶、ブリキ缶をはじめ多くの種類があります。地域の住民、特に子供たちに「空き缶資源リサイクル」の模範を示すには、缶の種類を選ばない取り組みが必要であります。

学校、企業をはじめとした地域の方々から提供頂いた空き缶のリサイクル収益金を基金として積み立て、『小学校での環境教育活動』・『社会教育活動』・『子供の健全育成活動の支援』・『リサイクル啓発活動』などへと活用します。

～理事長コメント～

空き缶基金活動も新しい展開に入り、北九州市内に留まらず行政の応援も頂きながら活動を拡大しております。

地球規模の経済危機ではありますが、我々の真価を問われる時であり、平成20年の成果を踏まえ、一步一步前進させていく所存です。

未来を担う子供たちのために!!



理事長 かわの かつり
河野 捷紀

■ 平成 20 年の活動概要

1. 空き缶の募缶活動
2. 資源リサイクルに関する提供活動
 - (1) 植樹活動～花の苗～
 - (2) 空き缶集積用ボックスの提供
 - (3) 見学ツアー
3. 資源リサイクルに関する広報及び啓発活動
 - (1) 環境イベント参加～留学生ボランティアとの共同～
 - (2) 講演活動 5件
 - (3) 機関紙『空き缶通信』の発行
 - (4) パンフレット完成



※ 当NPO法人を運営するにあたり、法律上、管轄諸官庁(県、市、税務署)にて確認しております。

□ 税 法 「非収益事業」…空き缶収集事業、事務委託事業

□ 就 労 法 資格外労働に該当しない旨の確認…留学生協力における催物/イベント



特定非営利活動法人 空き缶基金
会社法人等番号 2935-05-002884

1. 空き缶の募缶活動報告

趣旨に賛同いただいている団体は、12月末時点にて233団体(前年比: +30団体)。うち、募缶提供は91団体(前年比: +8団体)。

平成20年の空き缶回収重量(基金へ積み立てられる対象となった空き缶の重量) 221,402kg。事業収入額は、885,608円となりました。

2. 資源リサイクルに関する提供活動

(1) 植樹活動～花の苗提供～

『花いっぱい運動』を新テーマに掲げて活動を展開している北九州市立中原小学校さんへ「花(カーネーション)の苗」480本を提供させていただきました。

12/10(水) 全校生徒さんと共に、運動場横(4ブロック)と中庭(4ブロック)の合計8ブロックにて植え込みを行いました。



植樹活動風景



生徒代表あいさつ



当会員あいさつ



看板設置風景



中庭(中央4ブロック)



カーネーション苗(拡大)

～ 参加団体様へお知らせ ～

お蔭様で、このような提供モデルを作り上げることが出来ました。

小学校や子供さんたちの出入りしているセンター等の施設にて、花の植樹やプランターの提供を希望される団体様がございましたら、ご一報ください。TEL : 093-752-5015

(2)環境活動を補助する物品の提供

- ① 生徒さんが登校時に持ち込んだ空き缶を入れる容器を提供。校舎内の通学コースへ簡単に設置できるという手軽さを活かし、朝のあいさつ運動と組み合わせた児童活動に発展しています。【小学校】
- ② 一般の方が多く来場される商業施設に空き缶集積用のボックスを提供。お客様の人目に付く出入口に設置していただき、アピールを兼ねた回収活動に繋がっています。【商業施設】
- ③ 3/4(火) 清掃活動強化プランに携わる生徒会一同へ、清掃器具(ポリッシャー)を提供しました。【高等学校】



(3)見学ツアー

6/4(水) 八幡大谷まちづくり協議会員(八幡東区)20名を招待し、エコ見学ツアーを実施しました(法人会員である新日本製鐵株八幡製鐵所様主催)。見学コースは、資源リサイクルに取り組む北九州エコタウンと八幡製鐵所の工場を巡回し、リサイクルの実風景や鉄鋼製品の製造過程(身近にある品物が再利用されていく様子など)を見ていただきました。

3. 資源リサイクルに関する広報および啓発活動

(1)環境イベント参加による広報活動～留学生ボランティアとの共同～

留学生の協力体制構築

北九州市エコライフステージイベント、及び起業祭イベントにて、国際交流を図りました。理事長や会員さん個人とつながりのある留学生7名がイベント期間中、出展ブースにて広報宣伝活動を行いました。

出展ブースを訪れた約5,000名の子どもさんに スチール缶を用いたゲームや当法人マークの塗り絵(510枚)及び、鉄にまつわるクイズ(1,079枚)などで楽しんでいただきました。

留学生も日本の子どもさんたちと触れ合えて貴重な体験となりました。



参加(出展)イベント 一覧

(※)留学生協力

	日付	開催場所	イベント名
①	3/29～3/30	西日本総合展示場	こどもエコクラブ全国フェスティバル in 北九州
②	4/1～4/5	JR小倉駅構内	JR小倉駅 10周年イベント
③	6/7	夜宮公園(戸畑区)	戸畑菖蒲まつり
④	8/2～8/3	北九州市役所 横広場	わっしょい百万祭り
⑤	10/4～10/5	北九州市役所 横広場	北九州市エコライフステージ 2008 (※)
⑥	11/2～11/4	大谷体育館 前広場	起業祭 2008 (※)

(2) 講演活動

出前講演(リサイクルに関する授業)や一般講演を活動計画に盛り込んでいます。

平成 20 年は計 5 件の講演活動を行いました。当 NPO 法人の活動に加え、資源リサイクルの大切さや鉄の魅力や、様々な年代の方々へ講演し、「また講演してほしい」等の回答をいただきました。ちょっとしたやさしさが大きなことに繋がる、ということをも伝えていきます。

	日付	講演	テーマ
①	2/19	年長者研修大学「周望学舎」	スチール缶リサイクルについて
②	3/5	エコ塾発表会(経済産業局)	ほんの少しの便利さよりもほんの少しの地球への優しさを!
③	7/29	年長者研修大学「周望学舎」	地球にやさしいリサイクル ～空き缶のリサイクル事業について～
④	8/7	中核都市東京事務所長研修会	NPO 法人空き缶基金の取り組みについて
⑤	11/25	錦町市民センター(門司区)	スチール缶講座



年長者研修大学「周望学舎」



エコ塾発表会

(3) 機関紙『空き缶通信』の発行(平均 250 部/月)

参加団体さんの情報交流を目的とした『空き缶通信』を毎月 1 回発行し、行政・地域まちづくり協議会・市内小学校などに配布しております。内容は、空き缶回収の取組みなどの近況情報や登録団体さんの情報、さらに今年は見出しに理事・法人会員の方々からいただいたコメントを掲載しました。(平成 20 年 延べ 3,038 の団体様へ送付)。

また、法人会員様のホームページ上でも情報発信しています。



(例)H20 年 4 月号

(4) パンフレット作成

活動普及強化のために、NPO 法人専用のパンフレットを作成しました。イベント時や、当会員様の工場見学時に小学生を始めとする地域団体さんへ配布し、活動紹介を効果的に行うことを目的としています。

